



石見だよい

活力のあるまちづくりを

2015.1.3
第53号

編集／広報委員
発行／石見自治会 TEL44-0035



新年あけましておめでとうございま
す。自治会員の皆様におかれましては、
益々ご健勝で新年を迎えたことを
心よりお慶び申し上げます。

昨年も皆様方より自治会活動の推進
につきまして、多大のご協力ご支援を
いただき深く感謝いたします。

さて、懸案の近鉄石見駅周辺整備構
想策定懇話会が、住民アンケート及び
駅前交通量調査を基にして整備計画案
を策定し、三宅町に提示されました。

計画案の骨子は、踏切周辺は朝夕に
歩行者と車両が集中し混雑しているの
で安全の確保。

駅への送迎が
可能な駅前ロ
ータリーを京
奈和自動車道
とのアクセス

空き家が増え、おじいちゃんおばあ
ちゃんが残され、子ども達が独立して
戻つてしません。この現象を私は憂慮
しているところです。

皆様方もどうか整備事業にご協力く
ださいますよう切にお願いする次第で
す。

どうぞ本年も良い年でありますよう
祈念して新年のあいさつといたしま

新年あけましておめでとうございま
す。新年のあいさつ

石見総代 川口靖夫



謹賀新年



と将来の発展性を考慮して、駅西側に
配置することです。

用地測量調査及び建物調査は完了
し、現在、計画設計図の作成中で作成
され次第、地元説明会を行い用地買収
及び建物立ち退き交渉に入ります。

この事業は、「社会資本設備総合交
付金事業」で総事業費の内六十五%は
国庫負担で、残り三十五%を地元自治
体が負担します。尚、工期は平成三十
年度の完成を目指しています。

次に、三宅町の人口は、年々減少し
つつあります。平成二十年一月一日で
の人口は七六九二名、平成二十六年一
月一日においては七二三三名で、この
六年間で四五九名減少しています。年
平均約七七名減少している事になります。

京奈和道三宅インターが出来ます。
三宅町の玄関口である近鉄石見駅周
辺整備事業も、住民のアンケートによ
れば、住民が近寄りやすい安らぎのあ
る街づくりを望んでいるようです。

人が集まればそこにはミニスーパー
(店舗) アウトレットモール的なもの
が自然に誘致され、そこには雇用が生
まれます。多くのまちは、鉄道の駅を
中心にして発展していくものです。

ただ単に石見駅周辺を整備するので
はなく、これらを念頭に、整備を通し
て将来につながる街づくりを望んでい
ることを訴え続けていきたいと思つて
います。

いたところ、真っ先に言わるのは、
「産業がない」、つまり仕事場がない
という事です。

町商工会役員の方々と意見交換の機
会がありその席上で、以前は会員数三
百以上であったが、現在では百四十ほ
どとのことでした。産業を誘致し雇用
対策が望られます。

防災

第五回石見自治会防災総合訓練

去る十一月九日、雨にもかかわらず約二〇名の参加にて、第五回石見自治会防災による総合訓練を無事終えることができました。これもひとえに石見自治会員皆様のご協力あつてのことと感謝申し上げます。

私も防災委員として四年になりますが、年々皆様の災害に対する意識が向上しているのに驚かされています。

近年、風・ゲリラ豪雨、土砂災害といった様々な被害が発生している事も影響しているのかと思われます。

また、これからも石見自治会員の皆様の中から『災害による被災者』を出さないという気持ちで、総代を筆頭に防災関係者一同努力するつもりです。

その為には皆様の『自分の命は自分で守

る』ということを忘れないでいただきたいと思います。

なお当日、避難場所である高等技術専門校体育館にて日本防災士会奈良県支部の植村支部長による胸骨圧迫訓練が行われました。

その訓練に皆様が真剣に取り組んでおられる姿を見た際、災害に対する強い意識も頂戴して、少しでもお役に立てればと思つて再確認した思いです。

これからも防災訓練に対する皆様の意見も頂戴して、少しでもお役に立てれば思つて再確認した次第です。

最後になりましたが、訓練を担当してくれました奈良県防災支部の皆様及び美味な豚汁を提供して頂いた石見婦人会の皆さんに紙面をおかりしてお礼申し上げます。

(防災委員長 中條 正昭)

防災訓練に参加して



十一月九日九時より雨天の中、防災訓練が始まり、私ども担当の西石見地区公園前より会場まで担架の模擬走行訓練を経験しました。

本番での担架走行は、若い力が必要だと感じました。

まず総代の挨拶から始まり、特に印象に残りましたのは、植村防災士会奈良県支部長の手慣れたユーモア溢れる説明に会場の皆さんも聞き入っていたように思います。また、講習の目玉でありましたAEDの説明も本当にわかりやすく良かったです。さらに婦人会の皆様が作っていただいた美味しい豚汁と非常食をいただいて帰路についた次第です。

(西石見自治会長 岩田 翁)



雨の中協力して避難している方々



身を守るシェイクアウト訓練



AEDの説明をする植村支部長



AEDの使用訓練をする参加者



担架を使用して避難所に向かう方々



豚汁の炊き出しをする婦人会の皆さん

防災訓練に参加して

十一月九日、石見自治会の防災訓練に参加しました。

朝から雨、十時に新池横の防災倉庫に集合し一時避難所である奈良県立高等技術専門校へ移動しました。

最初に“地震のときの身の守り方”について説明があり簡単な訓練をしました。地震のときは姿勢を低くして頭を手で守る。知識としては持っていましたが実際にやってみたのは初めてでした。

次に“救命法”

- ・意識を確認して

・近くの人に一一九番通報とAEDの手配を要請し

※その時、必ず戻つて来るよう頼む

という説明があつた

後、器具を使って胸骨圧迫法とAEDの使い方の訓練を行いました。

この訓練で胸骨圧迫を一人で救急車が来るまで続けるのは体力的に難しく、戻つて来るよう頼む



ことの重要性を実感しました。

救命法に

ついては、何回か類似の講習を受けているのですが一年もたつと

、わかつている積もり、になつていきました。

“避難所の環境”について話がありました。

避難場所に仰向けに寝て、左右に転がり両隣の人を見るという体験は初めてでした。

災害時の避難では、狭い場所で面識のない人たちと長期間暮らすことになりストレスがたまるということが疑似体験できました。

ブルーシートを敷いた床は固く冷たかったです。

避難のために持つて行く物を見直す必要がありそうです。

最後に、“自身の安全確保の順位”について。



横になり避難スペースを確認する参加者

一時持出品（避難するときに持ち出す最低限のもの）

非常食	飲料水 乾パン 缶詰 ビスケットなど
貴重品	現金（公衆電話用に10円硬貨も用意） 貯金通帳 印鑑 権利証書 免許証など
その他	ナイフ 缶切り ライター マッチ ティッシュ ビニール袋 生理用品 雨具など
懐中電灯	懐中電灯
携帯ラジオ	携帯ラジオ（予備電池）
応急医療品	傷薬 胃腸薬 ばんそうこう 包帯など
衣類	下着 上着 タオル 厚手の手袋など
育児用品	紙おむつ 粉ミルク ほ乳びんなど

その次に隣人。

これはよく聞くことですが、もしものときに行動が伴うようにいつも頭の隅に置いておく必要があるでしょう。

今回の防災訓練に参加して、繰り返し訓練を受けることの必要性を痛感しました。

たいへん有意義な防災訓練であり今後ともできるだけ参加していきたいと思います。あらためて防災訓練のために奔走していただいた方々にお礼申し上げます。

（中町一丁目 K・I）

本町で起ころるかもしない風水害に備えて、気象庁が発表する「防災気象情報」や、町が発令する「避難情報」について理解し、いざというときに備えることが「自分の身を守る」ことにつながると思います。

防災気象情報の種類

①注意報

気象要因により、災害が発生するおそれがあつたときに発表されます。

②警報

気象要因により、重大な災害が発生するおそれがあつたときに発表されます。

③土砂災害警戒情報

土砂災害の危険があつたときに発表されます。

④特別警報

従来の警報の基準をはるかに超える豪雨や大津波などが予想され、重大な災害の危険性が著しくあつて、その場合、特別警報を発表し最大限の警戒を呼びかけます。

避難情報の種類

①避難準備情報

(例) ○○地区に避難準備情報を発表しました。河川の増水のため浸水するおそれがあります。避難の準備をしてください。

②避難勧告

家族などと連絡をとり、持出品の用意をして避難準備を開始します。お年寄りや乳幼児、障がいのある方など、援護をする方は早めの避難が必要です。

(例) ○○地区に避難勧告を発令しました。浸水のおそれがあります。直ちに避難を始めてください。

どんなとき?

今後の雨などの状況により、洪水や浸水のおそれがあり、人的被害が発生する可能性が明らかにあつた場合に発令されます。

どんなとき?

お互い助け合って、近くの避難所に速やかに避難を始めましょう。

③避難指示

(例) ○○地区に避難指示を発令しました。大変危険な状態です。直ちに避難を完了してください。

どんなとき?

災害が起ころる前兆とみられる現象が発生するなど、人的被害が発生する危険性が非常に高い場合に発令されます。

どんなとき?

近くの避難所に直ちに避難します。避難経路の浸水などにより避難することが困難な場合は、無理をせず自宅や近隣の建物の二階より上に避難します。





秋祭り盛大に実施

毎年恒例の秋祭りは、十月十八日宵宮・十九日本宮と二日間にわたり実施されました。

宵宮では、石見鏡作神社におきまして御神楽奉納が厳かに執り行われました。

また、ふるさと塾石見の皆さんによる燈火会は、神社の境内がろうそくの明かりと闇夜のコラボにより幻想的な光景に包まれていました。

宵宮に訪れた子ども達は、神社に参拝しあと綿菓子づくりに挑戦し、楽しいひとときを過ごしていました。

さらに、公民館におきまして第二十三回演芸カラオケ大会が行われ、カラオケ・コラス・楽器演奏・踊り・体操・太極拳・

パネルシアターなど、十四組の方々が、日々の活動の成果を遺憾なく発揮されていました。

本宮は子ども御輿です。

東コースと西コースを大きなかけ声を掛け合いながら練り歩いた後、あてもん・金魚すくい・ヨーヨーを楽しんでいました。

また、みたらし・フランクフルトなどをほおばり、満足げな子ども達の顔で溢れていきました。



人権教育地区別懇談会

十一月三十日、三宅町人権教育推進協議会並びに石見支部主催による人権教育地区別懇談会が石見公民館で行なわれました。

『みんなで支える高齢者問題』

一人住まいの高齢者の孤独死に想うことをテーマに、認知症・老老介護の支援と孤独死をなくすために”今、自分ができること”、”今、家族ができること”、”今、地域ができること”について、三十二名の

公民館の大掃除

明けましておめでとうございます。

昨年末には、石見婦人会の皆様と石見文庫の皆様のご協力により、公民館の大掃除を行つていただきました。

婦人会の皆様には、座布団カバーの洗濯とアイロン掛けをしていただきました。

百枚近いカバーの洗濯は大変だったと思います。

網戸と窓拭きは、石見文庫の皆様が担当してくださいました。

窓は、工夫して外側と内側から二人一組で同時に拭く作業、男性の方々が網戸を洗う作業をしてくださいました。

お陰様でサッシの滑りも良くなりました。

本当にありがとうございました。

(公民館 梶公子)



参加者がグループに分かれて、意見交換や話し合いが行われました。

「家族とのコミュニケーションを大切にすること」、「近所づきあいを大切にすること」など、みんなで支え合う「やさしさとぬくもりのある石見づくり」に多くの方々の参加を願う意見などが出ていました。

平成26年を振り返る



4月桜まつり



3月御田植祭



3月三宅町防災訓練



5月花の植え替え



5月野神さん



5月役員・各種団体合同会議



8月夏まつり



6月早苗振祭



6月防災倉庫点検



10月秋まつり



9月クリーンキャンペーン



11月総合防災訓練

石見総代選挙のご案内
立候補受付
投票日
日時 平成二十七年一月十一日（水・祝）
午前九時～正午まで

七月 郷神祭・十一月 新嘗祭を執り行いました。

場所 立候補受付・投票とも石見公民館です
投票日
日時 平成二十七年一月十一日（日）
午前八時～午後五時まで